

# 東山荘だより

(題字は 元同盟委員長 故北村徳太郎氏)

2010/春

発行人・石田 恩/発行所・日本YMCA同盟 東山荘 〒412-0024 静岡県御殿場市東山1052/Tel 0550-83-1133/Fax 0550-83-1138  
印刷・エビスLLC 〒412-0021 静岡県御殿場市二枚橋312-1/Tel 0550-70-0022/Fax 0550-70-0246



富士山中に息づくケヤキの巨樹

私たちちは四季を通して多くの方々を富士山にご案内していますが、その際、紙で作つた様々な表情の”目”を常にリュックに忍ばせて います。

そして森で出会つた木々の幹に洞やコブがあると、それを口や鼻に見立て、その上にこの”目”を貼ります。すると幹に表情豊かな顔が現われ、一本一本の木が可愛らしく、人間のようにそれぞれに個性があることに気付きます。

こうなると森中のどの木も気になつてくるから不思議です。写真は幹回りが660cmもある、近寄り難い程の風格を持つケヤキの巨樹ですが、目の下にあるコブが鉤鼻と厚ぼつたい唇のように見え、おまけに丸く小さな右耳もあります。とたんにこの巨樹への親しみを覚え、近寄つてみんなでなでなでしました。こんな紙の”目”二つで、木や森の見え方、感じ方が大きく変わることに、作つた自分も驚きました。

自然はこどものような遊び心を持つて接すると、心の底から「ああ幸せ！」と感じる程の楽しさを私達にもたらしてくれます。

写真・文 プログラム主任

白鳥裕之

# 東山荘と私

TOZANSO

元東山荘所長 後藤邦夫

一九九九年の九月にニュージーランドを訪ねた時、街で大きな看板を見た。『2000 - First to See the Sun!!』とあった。日付変更線の関係で、南半球では世界で一番早く『日の出』が見られる国

ニュージーランド。その最東端の岬から新しい世紀の最初の太陽を見ようという広告であった。

誰よりも早く光が見たい。私の学生時代、この願いを実現してくれたのが東山荘であった。東北大學生Y.M.C.A.(学Y)のメンバーであつた。先輩からの刺激に励まされ、仙台から木造の東山荘に辿りついた。一九五三年、第六十二回夏季学校。主題「大学における証—教会と学Y」、参加者五十一人。日本での最高の指導者たちによる主題講演、聖書研究、そして全国から参加の学生たちとの分団協議。誰とでも議論ができる。富士の雄姿を眼前にしながら、丘の上での夕陽会。そのどれもが素晴らしい「光との出会い」であつた。



第22回 年末年始家族パーティー 1987.12.30～1988.1.4 於 東山荘

かし、その夢は叶わなかつた。「葬出迎えに行つたが、それらしき外での遭難を後に知らされた。初めて会う筈だつたりーぱーさん、しかし、その夢は叶わなかつた。」葬業青年ばかりでなく、一般青年男女も積極参加で、共に学び、交流を続けておられる。

私は日本Y.M.C.A同盟の学生部主事になつての数年、毎年数回は夏季学校やその他の集会で東山荘に来ていたし、一九八一年からの七年間は、東山荘スタッフ・所長として楽しく働かせていただいた。この東山荘が間もなく一〇〇周年を迎えるようとしている。ひとりY.M.C.Aのためばかりでなく、日本社会、地域社会、国際社会のために広く貢献して来られた一〇〇年であつたことを感謝に思う。日本の、世界の、先が見通せない厳しいこの時代の中で、東山荘が新たな使命実現の願いを込めて計画されている一〇〇周年記念事業の全てが、神の導きと全国有志の厚い祈りに支えられて、実り多い成果が実現されることを切に祈念しています。



第34回 日本農村青年塾 1988.1.29～2.1 於 東山荘

「いま、農と食をどうする」、「いま、農と食をどうする」、これは私たち日本のすべての人々が今、真剣に考えなければならない重大な課題。東山荘はその危機感を早くから認識し、「農村青年塾」の育成を通して、真剣に取り組んでおられる。感謝しなければならない。

私は日本Y.M.C.A同盟の学生部主事になつての数年、毎年数回は夏季学校やその他の集会で東山荘に来ていたし、一九八一年からの七年間は、東山荘スタッフ・所長として楽しく働かせていただいた。この度建設されたロッジにくその働きを覚える為、ディーン・リーパーメモリアルロッジと命名することになりました。



両手に花束。東山荘時代の筆者(中央)

# 所長の独り言

東山荘所長 石田 恩

38

東山荘も95年目の年を迎える事が出来ました。

昨年から皆様の大きなご協力のもとにスタートしました100周年記念事業も着々と進みネイチャーセンターの竣工に続いて今年度は12月に念願でありましたA・B浴室の大改装を終え新しく生まれ変わりました。また11月に着工したロッジも3月末に完成し野外教育の拠点として、また長期研修や、グループ等での宿泊利用に最適な場となる事と確信しております。

東山荘は過去本当に多くの方が真の交わりと出会い、また学びの場としてその使命を果たし、内外を問わず様々な指導者がその人格を通して多くの青年に感化を与えてまいりました。その指導者の一人であるアメリカからの協力主事デイーン・リーパーさんを記念して今回完成するロッジに命名して彼の働きを顕彰しようという事が同盟の理事・常議員会で決定されました。この事はリーパーさんの働きを覚えると共に東山荘が



これまで多くの特に若者に影響を与えてきた事の象徴として、今後もそのような場でありたいとの決意を新たにするものであります。

100周年にむかって単に施設の建築や改修ではなく、東山荘が果たしてきた働きを覚え、多くの先人に感謝し、そして今後益々Y.M.C.A運動が神様から託された使命を果たしていく場としてこの

東山荘が有るべき姿に向っていく事がその意味であると信じております。皆様から募金を通してその事を託されている事を再確認し希望を持つてこの事業を進めていきます。たいと願っております。これからも皆様の暖かいご協力をよろしくお願い申し上げます。

3月末をもつて所長を退任する事となりました。1999年度より11年間見えざる神様の導きにより、東山荘を愛するY.M.C.Aの皆様、また地元の皆様、ご利用頂いた団体の皆様方に支えられてまいりました事を心から感謝申し上げます。



最後になりましたが、私はこの3月末をもつて所長を退任する事となりました。1999年度より11年間見えざる神様の導きにより、東山荘を愛するY.M.C.Aの皆様、また地元の皆様、ご利用頂いた団体の皆様方に支えられてまいりました事を心から感謝申し上げます。

この度、歴史と伝統のある東山荘で働かせていただくにあたり、身の引き締まる思いです。

1977年に東京Y.M.C.Aに入職し、1980年から山梨Y.M.C.Aで働き、30年が過ぎました。その間、15年間総主事を務めました。別支援学校の教師をしていました。大和田浩二と申します。56歳。2男1女の父です。妻は、山梨の特

皆さん、よろしくお願ひします。



## 設備概要

4人和室×4部屋、2段ベッド部屋×2部屋  
(バス・トイレ・洗面付き)  
貸切は15名以上。少人数貸切相談可です。  
定員20名(子どもは30名)

## 料金

素泊り5,250円、1泊2食付 7,760円

東山荘の職員・サポートーの皆さんと共に、利用していただいた

方に、やっぱり来て良かったと思われるような東山荘作りをより一層進めたいと思いますので、どう

ぞよろしくお願ひいたします。





## 主催プログラムのごあんない

● デイワークキャンプ 春の巻 ●	日 程 4月24日(土)	参 加 費 1,000円
対象 どなたでも	内 容	※苗木や花の苗など、東山荘の庭を彩るご寄付を歓迎します。

● 東山荘・花の集い ●	日 程 4月10日(土)10時～15時(日帰り)	参 加 費 2,000円(3歳未満は無料)
対象 どなたでも	内 容	※含む昼食代、プログラム費

### お申し込み・お問い合わせ 資料のご請求は…

日本YMCA同賛 東山荘  
〒412-0024 静岡県御殿場市東山1052  
TEL 0550-83-1133  
FAX 0550-83-1138  
E-mail:tozanso@ymcajapan.org  
ホームページ  
<http://www.ymcajapan.org/tozanso/>



根の下2泊の寝食を共にします。  
大型ロッジにみんな仲良く一つ屋

木を途中クイズに答えたりお団子とお茶で一息ついたりしながら、みんなで楽しく歩きましょう。そして、昼食は東山荘スペシャル春ランチ。午後は東山荘を美しく飾る野草や樹木の花々をめぐるガイドツアーをお楽しみ頂きます。

内 容 4月10日前後は東山荘やその周辺の桜がちょうど見頃を迎え、総延長約3kmの見事な桜並木が出現します。そこで、この桜並

木となりました。木々と人は共

内 容 参 加 費 21,000円

国を救つたのは、人々が植えた木々でした。ここ東山荘も昔は木々の少ない草原でした。やがて、多種

内 容 参 加 費 9,000円

多様な木々が植えられ、それらが健やかに育ち、現在の緑溢れる東

内 容 参 加 費 9,000円

山荘となりました。木々と人は共に育つものです。新緑の萌える麗

内 容 参 加 費 9,000円

らかな春、今回のワークキャンプは植樹など自然環境の整備を行

内 容 参 加 費 9,000円

端ではなく、ぐるっと一周150km以上もあります。そこで自転車でこの山麓を一周し、富士山の大きさ、懐の深さ、そして新たな魅力

内 容 参 加 費 9,000円

苗木を寄せ付していただける方も大歓迎です。お昼は焚き火で飯盒炊爨をしよう。何を作るかはお楽しみ。そして食後は、みんなで笑い合ひ、助け合う“協力ゲーム”で人と人の絆を深めましょう。

内 容 参 加 費 9,000円

雪景色の富士山が最高に綺麗です!!  
是非、ご来荘ください。



### チョコレートプリン

★オーブンを160℃に温めておく。

材 料 ココット型 6個分

スイートチョコレート	65g
全卵	1個
卵黄	1個
牛乳	300cc
砂糖	20g

- 1 鍋に牛乳と砂糖を入れ、中火にかけ沸騰直前に火からおろす。チョコレートを刻んで加え、完全に溶かし、粗熱をとる。
- 2 ボールに全卵と卵黄を入れて溶きほぐし、①を少しずつ加えて良く混ぜる。シノワ(漉し器)で漉し、ココットに注ぎ入れる。
- 3 パットに②を並べ、熱湯を入れてオーブンに入れ、15分位蒸し焼きにする。



## ブログラム通信

### ●十五夜のふじさんぽ●

10月3日～4日

秋の深まつた富士山を歩きながら、お月見をしよう！と企画しました。ところが日没頃から雲がわき始め、月の出の頃には信じられないような濃霧の中へ…。お天気には恵まれませんでしたが、濃霧の中のお月見団子は味わい深いものとなりました。帰途、バスからは冴え冴えと冷たい色を放つ満月を仰ぐことができました。



2日目はご褒美のような快晴の中、コケモモの赤い実が絨毯のように敷き詰められた別天地のお散歩へ。収穫の喜びに思わず頬がゆるむ楽しい1日となりました。

真珠まりこさんによる「もつたいないばあさんのワールドレポート」の会話から始まりました。本物との出会いは子ども達にとって大切なことです。子どもキャンプでは毎回、本物の自然にまみれ、体と心のまるごとで富士山を楽しんでいますが、今回はまた特別な「本物」との出会いがあり、

16日間の期間中約850名の方にご観覧いただきました。自分と世界とのつながり、自分の暮らしと環境問題とのつながりを身近に考えるきっかけとなれば大変嬉しいです。



会期初日には作者・真珠まりこさんのギャラリートークがあり、ご本人から貴重なお話しを伺う機会となりました。



### ●秋のこども自然キャンプ●

10月17日～18日

### ●もつたいないばあさんのワールドレポート展●

10月17日～11月3日



吹き飛ばされそうな強風の中、白く雪を頂いた富士山はきりりと美しく、厳しい自然の中でも思わずこぼれる笑い声が響き合っていました。

による弦楽四重奏のミニコンサートもあり、和やかなひと時を分かち合いました。



今年初めての企画、しかも2週間前になつて急遽持ち上がつたプログラムでしたが、冬休みに入つたばかりの36名の子ども達と、5名のリーダーが集いました。

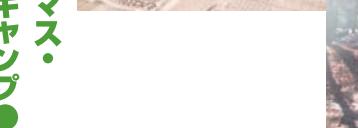
お馴染みの顔ぶれでしたが、思えば東山荘の庭で一日中遊びまくる経験は今まであまりなかつたことかもしれません。より一層、東山荘の自然が身近になつた一日でした。

雨の中の道祖神ウォーク、バーイヤー、そして2日目は強風絶景の初冬のふじさんぽに出かけました。

### ●東山荘オープンハウス●

10月25日

寒い雨の日曜日でしたが、たくさんのお客様をお迎えして賑やかになりました。ケーキ屋さんやパン屋さんをはじめとした



## ●第44回

## 年末年始家族パーティー

12月30日～1月4日



みんなそろって にこにこです



お名前は？ 異世代交流♡

大きな家族が東山荘に集いました。  
一人ひとりがより親しく交われるよう準備された様々なプログラムを通して、一緒に作業したり笑い合つたり。体験と感動を分かち合いました。

笑顔満載の写真で、紙上家族パーティをお楽しみ下さい。

(写真：小曾戸 恒夫)

火をかこむと  
心もほかほか

シェイプアップ!!

心と体をすっきり  
お手入れみんなで相談  
お題をクリア心静かに  
朝のひととき自慢のこと。  
誰が一番？昔取った杵柄?  
パパかっこいー

2010年の初日と富士山

折染 + はっぱの  
たのしいコラボ折紙たこ  
よくあがりました美声に  
酔いましたウォーキング前に  
ストレッチ

## 編後集記

「東山荘と私」  
にご寄稿下さった

あれから早〇〇年。  
髪も増えましたが、感性は初々  
しい今まで東山荘での出会い  
を楽しみたいと願っています。  
後藤さんが所長だった最後の  
年に採用されました。

たのしかった日々のふりかえり  
ろうそくの灯で和みます

掘出し物はあるかしらー